

知財理解を深め、技術企業力UP

会社名 株式会社アサイ・エンジニアリング
 所在地 神奈川県横浜市磯子区田中2-5-5
 従業員 4名
 資本金 200万円(資本準備金を含む)
 売上高 非公表
 業種 開発受託、ロボット等精密機械の企画・開発・技術コンサルティング



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 受託開発事業に加え、強みを生かした他事業展開もできるように事業計画を策定する。
- 発注企業、及びパートナー企業との契約を整備して開発業務フローを見える化し、それに即した契約書を作成する。
- 事業の中で知財の位置づけを明確にする。

支援を受けてできるようになったこと

After

- 受託開発の他、教育事業を経営の二本柱として位置づけ事業計画が策定された。
- 契約の考え方を習得して自社の委託契約等のひな形ができたことにより、発注企業との安定した信頼関係のもとスムーズな取引を実現できた。
- 社内に知財担当部門を設置し、知財及び機密情報の適正な管理体制を構築できた。

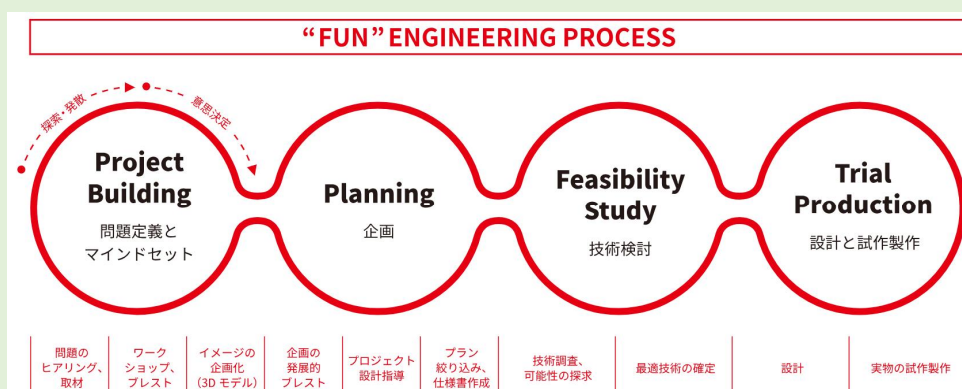
今後の事業展開の展望

Future

- 受託開発の契約の際には、起こり得るトラブルやリスクを回避し、発注企業とWin-Winの関係を構築できるようになる。
- 経営デザインシートの理解により、事業計画を策定し、それに基づいた経営を遂行できる。

重点支援を受けた事業や商材

同社はモノづくりにゼロベースから伴走し、プロジェクト成果を創出するコンサルティング、開発コンサルティングや、ロボット開発組織化支援を実施しています。以下のような受託開発を行う上では、開発プロセスを見える化し、最適な契約を目指しています。



【出典】株式会社アサイ・エンジニアリングホームページ
<https://asai-eng.co.jp/solution/>



重点支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
事業計画作成	既存の事業戦略に基づき、事業計画として三つの柱「受託開発」「教育事業」「技術コンサル」を包含した計画の策定が必要。
契約書および知財の理解を深める	受託開発事業における発注企業との契約において、双方のアイデアや利益を適正に保護できるように契約に対する理解を深め、知財保護やリスク回避ができるようにする。
知的財産権の取得	・同社の得意とするメカトロニクスのコアとなる技術を洗い出し知財化することで、技術的優位性を保持する。また、教育事業においても、教材の知財確保によって競争優位性を確保する。
著作権の理解	文書化された教材等の自社の著作権を学ぶことによって、自社の権利を守り、第三者の権利侵害を防止することが必要。
営業秘密管理	・営業秘密に関する理解を深め、自社のノウハウが不用意に流出しないように、秘密情報の仕分けを行うことが必要。



重点支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
事業計画策定	・経営デザインシートを理解し、より発展的な事業計画を作成できるようになった。	中小企業診断士
契約書および知財の理解を深める	・契約書の重要性を再認識し、自社の知財を理解・保護してより適切なリスク管理体制を構築できた。	弁護士 中小企業診断士 企業OB
知的財産権の取得	・共同出願の際に必要な契約内容を確認した。 ・商標登録を行うことができた。 ・また、出願可能な技術の洗い出しを行い、知財についての意識を高めることができた。今後、新規の技術・アイデアについて、必要な権利取得を行う。	弁理士 企業OB
著作権の理解	・教育事業のテキスト等に関する自社権利の保護の観点から著作権表示等の重要性を再確認した。	企業OB
営業秘密管理	・営業秘密の抽出は完了し、秘密情報については、施錠することができるキャビネットに収納するなどしてより厳正な管理を徹底した。	知財戦略AD

支援チーム紹介

リーダー専門家:中小企業診断士 中澤俊彦

活用専門家:中小企業診断士、企業OB、知財戦略AD、弁護士、弁理士

知財総合支援窓口担当者:神奈川県知財総合支援窓口 高橋光男

PO(プログラムオフィサー):石黒一夫